



橋元義嗣氏を公認決定

鹿児島地本第20回定期委員会

第20回定期地方委員会を、3月9日(土)13時から鹿児島市「ホテルユニオン」で開催した。委員会は、江口副委員長の開会の挨拶、委員会議長に鹿児島乗務分会の荒木裕輝員を選出した。その後、上野委員長が、二年前の震災に触れ、重ねて復興を願う意思と安全、春闘、政策課題の実現の三点について地本執行部を代表して挨拶を行った。当日は、湧水町議会議員選挙に立候補を決定された吉松地区分会組合員の「橋元義嗣」氏に公認

証書の授与を行うと共に、必勝を誓い合った。なお、本部を代表して許斐書記長から、春闘を取り巻く情勢と取組みについて挨拶があった後、経過報告・当面の活動方針・暫定予算の提案があり、9名の委員から発言があった。その後、延時書記長が集約答弁を行い、提案した全ての議案を満場一致採択した。また、委員会宣言を地本青女の田中祥司事務長が提案・採択の後、上野委員長長の団結ガンパローで成功裏に終了した。

2013春闘勝利青女セミナー 湧水町議選勝利総決起集会

平成採用地本役員が企画運営した「2013春季生活闘争勝利青女セミナー」は、3月2日(土)JR九州ホテル鹿児島において、中間教宣部長の司会で始まった。セミナーは、主催者を代表して上野委員長から挨拶があったの

ち、許斐中央本部書記長より、春闘を取り巻く情勢、我々が目指すべき賃金と今春闘の取り組みについて講演を受けた。最後に、松枝レク・サークル部長が「良い勉強になりました。団結して春闘を頑張りましょう」とあいさつし

閉会した。また、同趣旨で当日開催した「春闘から、それぞれ力を合闘勝利・湧水町議選勝利総決起集会」は、30組みになった。余名の組合員と家族が参加。集会後バスケットボールを行った。たまには珍プレーも出たが、社会人間も無い組合員は、運動量が多く素晴らしい活躍が目を見張った。それに比べ、年齢の高い組合員は、転ぶシーンと座るシーンが多く、体が

